

吉田 かよこ



吉田かよこ プロフィール

1962(昭和37)年9月生まれ
小学校2年まで仙台白百合学園小学校で学ぶ
父の転勤で、東京に戻り小学校3年より桐朋小学校に編入
桐朋女子中学校・高等学校卒業
日本大学理工学部数学科卒業
平成元年税理士資格を取得
現在、渋谷区議会議員(3期目)
吉田佳代子税理士事務所の所長でもある

1. 第3回定例会で一般質問に登壇しました

平成28年9月29日から10月27日までの第3回定例会で一般質問に登壇致しました。持ち時間が11分と短い中でも区長に対し2項目の質問をすることができました。1項目が分煙について、2項目が産後健診についてです。区長には、どちらの項目も前向きな答弁をいただきました。詳細を下記に記します。

(1)分煙について

1988年、IOC(国際オリンピック委員会)は、オリンピック大会での禁煙方針を採択しました。2010年には、WHO(世界保健機関)との間で、オリンピックをたばこの煙のない環境で実施する「タバコフリー」の合意文書にも調印しています。

そのため、近年の歴代開催都市は全てオリンピックまでに罰則付きの受動喫煙防止法または条例を制定しています。ところが、日本は、「WHO たばこ規制枠組条約」の加盟国であり、オリンピック開催予定国であるにもかかわらず、2003年施行の健康増進法の第二十五条では、学校、病院、百貨店、飲食店など多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならないとし、施設管理者に受動喫煙対策を課しましたが、罰則のない「努力義務」にとどまっています。



吉田かよこ事務所連絡先

住所 〒151-0071 渋谷区本町6-38-6-306

電話番号 03(3373)7167 FAX03(3373)7165

メールアドレス kayoko@ia7.itkeeper.ne.jp



- ① 質問 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会成功のためには「スモークフリーシティ」実現が必要だが「スモークフリーシティ」について区長はどのような考えを持っているのか？あわせて、受動喫煙防止に関する区長の考えを伺う。

答弁 一律に罰則で取り締まるのではなく喫煙者一人一人にモラルやマナーの向上を図っていく。

- ② 質問 渋谷駅周辺では再開発が進み、建築されていく新しい商業施設等には条例に則り、屋内喫煙所が増えて行くと思うが、その状況と、それに合わせ、路上喫煙所の数を減らすことができるのではないかと考えるが区長の所見を伺う。

答弁 「渋谷区安全・安心なまちづくりのための大規模建築物に関する条例」に基づく公共喫煙所の設置状況は4件。そのうち渋谷駅周辺の申請は2件で、2020年までに約73㎡、2020年以降は約100㎡の公共喫煙所が新たに設置される予定。

屋内公共喫煙所の設置状況を見ながら既存喫煙所は撤去・縮小するなど分煙の強化をはかっていく。

- ③ 質問 美竹公園の喫煙所については移設も含め大幅な改善を求めたいと思うが、区長の所見を伺う。

答弁 喫煙所の移設も含め抜本的な改善の検討を進めている。当面はプランターの充実やパーティションの設置についてJTと進めていく。

- ④ 質問 初台の新国立劇場その他大手企業は公にしている喫煙所はない。たくさんの方々が集まるこうした施設の管理者は、区に対し協力をしていくべきと考えるが、区長のご所見を伺う。

答弁 地域の実情を見ながら屋内の公共喫煙所設置の必要性を十分に吟味しビルの管理者に対し設置の協議を行い分煙を進めていく。

(2) 産後健診について

質問 子育てに忙しい産後の母親達の健康のために、受診率の高い三歳児健診で、母親達の健診及びがん健診の受診状況を調査し健診の機会を促してはどうか。

答弁 三歳児検診の際、検診事業の紹介や受診勧奨を行うことは子育てに忙しく過ごしている母親が自分自身の健康について考えるよいきっかけとなるのでその実施について検討していく。



2. 平成27年度決算について

平成27年度一般会計歳入は936億 5,484万 1,625円、歳出は857億 8,423万 523円でした。民進党渋谷区議団は、今決算については賛成をし、下記の点について指摘を致しました。

(2) 基本構想の改定に着手

平成8年に策定された基本構想は、およそ20年が経過し、人口見通しなどにおいて現実と乖離する部分が目立っております。わが会派は平成27年3月議会で基本構想の見直しや長期計画の策定を求めてまいりましたが前区長には受け入れていただけませんでした。長谷部区政においては、就任直後に軌道修正し、速やかに補正予算を組んで改定に着手したそのスピード感を評価しています。



(1) こどもにかかわる政策の充実

平成27年度当初から平成28年度にかけて、保育園の受け入れ人数は4,064人から4,252人へと188人増加しました。そのうち、当初予算に予定されていなかったのはキッズハーモニーニューマンの開設により39人、本町そよかぜこども園の増枠により17人、合計56人にのぼります。

さらに、平成27年度の補正予算では29年4月開園のまのここども園代々木上原(102人規模)の用地取得費が盛り込まれています。長谷部区政では、待機児解消にむけたとりくみが加速していることを評価いたします。



(3) 多様性を認め合える区政づくりの進展

渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例が平成27年3月議会で誕生し、平成27年度は具体的内容の肉付けや調整を行った一年でした。様々な懸念も存在する中、多様性社会推進条例が切り開いた新しい価値観は日本を大きく動かしました。

11月にはパートナーシップ証明書の発行が始まり、平成27年度中に8件交付されました。その他、講座や職員研修なども行われ、多様性を認め合える社会づくりが進んだと評価いたします。

3. 変わりゆく区内交通機関

(1) 代々木八幡駅改修工事

代々木八幡駅の改修工事はすでに始まっています。現在、上下線別々の対面式のホームとなっていますが、これを島式のホームに変更しホームの1本化を行います。2階には、ショップが入り、2階の山手通りから直接改札に行ける予定となっています。そして、1階のホームにはエスカレーターかエレベーターで行ける構造となっています。

代々木八幡駅にはホームドアの設置が予定されており、さらにホームと車両との隙間が大きいいため、列車到着時に床面からステップが張り出し、隙間を少なくする「可動ステップ」もホームドアの使用開始にあわせて導入されます。利用者の安全性を重視したこうした取り組みにおおいに期待しています。



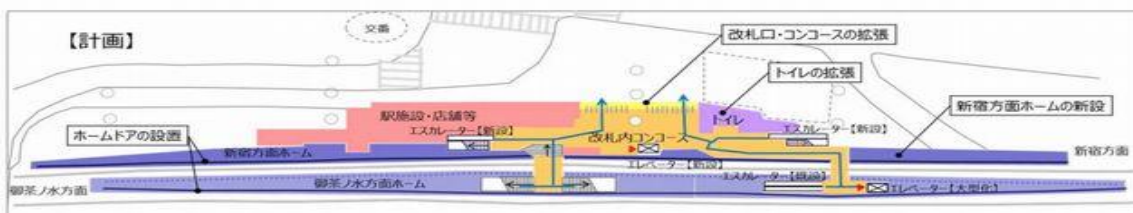
(2) 原宿駅舎建替え

原宿駅の開業は1906年4月で建替えが予定されています。初詣の時期に使用される臨時ホームを新宿、池袋方面の外回り用ホームとし、現在使用している島式ホームを、渋谷、品川方面の内回り用に変更して混雑緩和を図るという計画です。新駅舎は線路を跨いだ構造の二階建てとなり、明治神宮口の出入り口も設置される予定です。現在の駅舎の扱いについては、近隣住民をはじめ原宿駅を愛する方々から歴史ある建築物として残してほしいとの声があがっています。歴史を残し伝えていくことはとても大事なことだと思います。



(3) 千駄ヶ谷駅改修

千駄ヶ谷駅では、使用していない臨時ホームを新宿方面の専用ホームに変更し、動線がスムーズになるよう、新宿寄りに改札口を移設します。また、改札口やコンコースを拡張して混雑緩和を図るほか、ホームドアを設置する予定です。



吉田かよこ事務所連絡先

住所 〒151-0071 渋谷区本町6-38-6-306

電話番号 03(3373)7167 FAX03(3373)7165

メールアドレス kayoko@ia7.itkeeper.ne.jp